

『創造都市を創造する』特別連続シンポジウム『芸術都市キタを考える』

10. 研究科重点研究『創造都市を創造する』「扇町創造村構想」

特別連続シンポジウム

『芸術都市キタを考える（1）—いま！キタはアート都市になるのか？』

【主催】宝塚造形芸術大学サテライト大学院・デザイン経営研究科、大阪市立大学大学院・創造都市研究科

【日時】2004年5月15日（土）午後6時30分から9時まで

【場所】宝塚造形芸術大学梅田サテライト大講義室502 [阪急梅田駅・茶屋町口出て北西直ぐ（DDハウス北）]

【趣旨】これまで、かならずしも芸術的な都市とは考えられてこなかったOSAKA！この認識を変えることは、大阪の芸術活動や文化産業の発展に重要なステップとなる！キタエリアでは新たなクリエイターの集積が始まっている。大阪・キタ（大阪市北区）が芸術的な都市として発展していくことは、梅田に拠点をもつ大学院自身の発展のためにも欠かせない。シンポジウムでは、大阪・キタの現状を再認識するとともに、今後この地域が芸術的・創造的な活動やビジネスが活発に行われる場所、才能のある若者がこの地域に集まってくるような街にするための方策を探る。みなさんの参加を期待する！

【プログラム】

[6:30~6:40]「開会挨拶・開催趣旨説明」

菅原正博（宝塚造形芸術大学デザイン研究科長）

[6:40~7:00]「扇町創造村（仮称）構想について」

塩沢由典（大阪市立大学創造都市研究科長）

[7:00~7:20]「茶屋町の芸術と場所」

李暎一（宝塚造形芸術大学教授・環境デザイン担当）

[7:30~9:00 パネル討論]「芸術都市キタの現状と将来」

[パネリスト]

李暎一（宝塚造形芸術大学教授）

山納洋（メビック扇町コラボレーションマネジャー）

塩沢由典（大阪市立大学創造都市研究科長）

小長谷一之（大阪市立大学創造都市研究科助教授）

[司会]

加藤力（宝塚造形大教授、インテリア・デザイン担当）

=====
扇町創造村！

【扇町創造村（OCV：Ogimachi Creative Village）】構想とは？

みなさんは、大阪市北区梅田から東部の扇町にかけての地域の周辺が、日本でも有数の芸術文化情報関係のクリエイター集積地区であるということをご存じでしょうか？

もともと大阪市北区は、全大阪市の、グラフィックデザイン、絵画、広告宣伝、新聞、出版・印刷などのメディア、映像・コンテンツ制作、演劇・劇団・芸能プロダクション、音楽関係、芸術系専門学校などの多くの業種の、実に約4割から6割が集中する「クリエイター都市」となっています。

特に、「天満－天神橋－中津－梅田を4頂点とする地域」がこうした集積の中心であり、大阪市立大学（大学院創造都市研究科）、宝塚造形芸術大学、（財）大阪市都市型産業振興センター・メビック扇町の3機関の関係者は、この地域に注目して活性化するためのさまざまな調査・研究・ムーブメント・プラクティスをおこしていこうと考えております。大阪市立大学の創造都市研究科では、研究科全体の重点研究プロジェクト『創造都市を創造する』の一環として推進する計画でもありません。

阪急・阪神・JRなどが文化ゾーンに変えてきた梅田駅の周辺にあたる、この「グレーターキタ」ともいべき地域では、「扇町トーキングアバウト」やまちづくりNPOなど様々な興味深い自主的な活動が生まれており、また、骨董街の老松町や、お洒落なカフェ・レストランが集積する帝国通りなど個性的な町並みも多く、古くからの歴史文化遺産もまた数多くあります。

この地域のブランドが全国・全世界的に有名となって地位を確立し、クリエイターのコラボレーション・マッチングや、産官学の連携などを通して、仕事が発生する、先端的なまちとしてのプロモーション活動がおこると素晴らしいものです。

これから、この構想に基づいて、多くの企画をお知らせしてまいります。

いっしょに大阪を元気にしていきませんか？

扇町創造村（仮称）準備会議事務局

重点研究『創造都市を創造する』『扇町創造村構想』連携企画

特別連続シンポジウム 「芸術都市キタを考える！」



大阪市立大学大学院
創造都市研究科GSCC



【主催】宝塚造形芸術大学サテライト大学院・デザイン経営研究科、大阪市立大学大学院・創造都市研究科

いま!キタはアート都市になるのか?

【趣旨】これまで、かならずしも芸術的な都市とは考えられてこなかったOSAKA!この認識を変えることは、大阪の芸術活動や文化産業の発展に重要なステップとなる!キタエリアでは新たなクリエイタの集積が始まっている。大阪・キタ(大阪市北区)が芸術的な都市として発展していくことは、梅田に拠点をもつ大学院自身の発展のためにも欠かせない。シンポジウムでは、大阪・キタの現状を再認識するとともに、今後この地域が芸術的・創造的な活動やビジネスが活発に行われる場所、才能のある若者がこの地域に集まってくるような街にするための方策を探る。みなさんの参加を期待する!

【日時】2004年5月15日(土)午後6時30分から9時まで

【場所】宝塚造形芸術大学梅田サテライト大講義室502 [阪急梅田駅・茶屋町口出て北西直ぐ(DDハウス北)]

【プログラム】

- ①6:30～6:40 菅原正博(宝塚造形芸術大学デザイン経営研究科長)開会挨拶・開催趣旨説明
 - ②6:40～7:00 塩沢由典(大阪市立大学創造都市研究科長)「扇町創造村(仮称)構想について」
 - ③7:00～7:20 李暎一(宝塚造形芸術大学教授、環境デザイン担当)「茶屋町の芸術と場所」
 - ④7:30～9:00 パネル討論「芸術都市キタの現状と将来」
[パネリスト] 李暎一(宝塚造形芸術大学教授)
山納洋(メビック扇町コラボレーションマネジャー)
塩沢由典(大阪市立大学創造都市研究科長)
小長谷一之(大阪市立大学創造都市研究科助教授)
- 【司会】 加藤力(宝塚造形芸術大学教授、インテリア・デザイン担当)

重点研究『創造都市を創造する』『扇町創造村構想』連携企画

特別連続シンポジウム 「芸術都市キタを考える！」

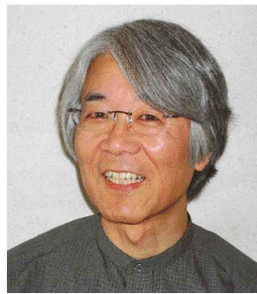
【趣旨】これまで、かならずしも芸術的な都市とは考えられてこなかったOSAKA!この認識を変えることは、大阪の芸術活動や文化産業の発展に重要なステップとなる!キタエリアでは新たなクリエイタの集積が始まっている。大阪・キタ(大阪市北区)が芸術的な都市として発展していくことは、梅田に拠点をもつ大学院自身の発展のためにも欠かせない。シンポジウムでは、大阪・キタの現状を再認識するとともに、今後この地域が芸術的・創造的な活動やビジネスが活発に行われる場所、才能のある若者がこの地域に集まってくるような街にするための方策を探る。みなさんの参加を期待する!

【日時】2004年5月15日(土)午後6時30分から9時まで

【場所】宝塚造形芸術大学梅田サテライト大講義室502 [阪急梅田駅・茶屋町口出て北西直ぐ(DDハウス北)]



菅原正博
宝塚造形芸術大学教授
デザイン経営研究科長
開会挨拶・開催趣旨説明



塩沢由典
大阪市立大学教授
創造都市研究科長
「扇町創造村(仮称)構想について」



李 暎一
宝塚造形芸術大学教授
環境デザイン担当
「茶屋町の芸術と場所」

パネル討論「芸術都市キタの現状と将来」



加藤 力
司会 宝塚造形芸術大学教授
インテリア・デザイン担当



山納 洋
メビック扇町
コラボレーションマネジャー



小長谷一之
大阪市立大学大学院
創造都市研究科助教授